

No. 6【2012年5月11日配信】

まち歩き講座のお知らせ(担当:渡邊)

みなさん、こんにちは。

市史編さん室の近くにある平和公園の桜が黄緑色へと変わりはじめ、舞い散る桜と、歩道を埋める桜色のじゅうたんが美しく、そこを通るたびに、ひととき豊かな気持ちになれます。

そして、芽吹いたばかりの黄緑の葉をつけた木々や春の花が公園を彩り、爽やかな新緑の季節の訪れを感じさせてくれています。

これからの季節、散歩などいいですね～。

さて、市史編さん室では、先日、お知らせした『新青森市史』通史編第2巻(近世)の刊行を記念して、「まち歩き」の講座を開講します。

本の中で紹介している、「青森」誕生の歴史を中心とする「江戸時代の青森町」のようすを、実際にまちを歩きながら紹介するもので、青森版「ブラタモリ」…?という感じでしょうか。

詳しくは、「広報あおり5月15日号」に掲載されますが、歴史トリビアの購読者の皆様には、ちょっとだけ早くお知らせしますね。



歴史講座「藩政時代の青森町を歩く」チラシ

開催日時は6月9日(土)13:00~15:30、アウガ5階 男女共同参画プラザ「カダール」で座講を受けたあと、まちに出ます。

講師はNHK文化センターの講座で人気の当室事務長・工藤大輔ですが、今回の講座、受講費はかかりません。



2012年2月11日に中央市民センターで開講された講座のようす

ちなみに、事務長の受け売りですが、青森市には江戸時代の風景は残っておらず、この時代の青森をイメージすることはむずかしいことと思われていますが、実は、当時の青森町の街区は、現在でもほぼそのままのこっているそうです。

つまり、江戸時代の町割りの上に現在の建物が建ち、私たちは当時の人々とほぼ同じ道を日々歩いているのです。そう思うとなんだか面白いですよ。

初夏の風を感じながら、絵図を片手にまちを歩いて、江戸時代の青森を感じてみませんか。